

令和元年度  
事業報告書

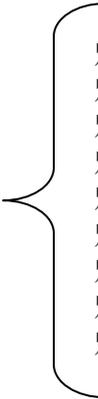
社会福祉法人 おあしす新川

- I. 法人本部
- II. 特別養護老人ホーム
- III. ショートステイ
- IV. デイサービスセンター
- V. 在宅介護支援センター
- VI. 入善町地域包括支援センター

# 目 次

## I. 法人本部

1. おあしす新川事業
  - 1) 法人の概要 …P. 1
  - 2) 法人の行う事業 … P. 1
  - 3) 役員等の状況 …P. 2
  - 4) 理事会・評議員会等開催の状況 …P. 2
  - 5) 監事の監査状況 …P. 4
  - 6) 資産の状況 …P. 4
  - 7) 借金の状況 …P. 5
  - 8) 職員配置状況 …P. 6
  
2. 令和元年度取り組み事業（法人全般）
  - 1) はじめに …P. 7
  - 2) ガバナンスの強化 …P. 8
  - 3) 組織の活性化 …P. 8
  - 4) 経営の安定化 …P. 9
  - 5) 人財確保対策 …P. 10
  - 6) 離職防止対策 …P. 10
  - 7) 職場環境整備 …P. 10
  - 8) 顧客満足度の向上 …P. 11
  - 9) 地域貢献 …P. 12
  - 10) 施設設備の長寿命化 …P. 12

- 
- 別表① 施設内研修 …P. 13
  - 別表② 施設外研修 …P. 13
  - 別表③ 研修生・実習生受け入れ状況 …P. 14
  - 別表④ 経営指標 …P. 14
  - 別表⑤ 栄養提供状況 …P. 15
  - 別表⑥ 行事食 …P. 15
  - 別表⑦ 介護事故状況 …P. 16
  - 別表⑧ 受診に至った事故状況 …P. 16
  - 別表⑨ 誤薬事故状況 …P. 16

## II. 特別養護老人ホーム

1. 令和元年度重点目標取り組み事項 …P. 17
2. 特別養護老人ホーム利用状況 …P. 18
3. 特別養護老人ホーム活動状況 …P. 19

## III. ショートステイ

1. ショートステイ利用状況 …P. 21
2. 要支援・要介護度別利用状況 …P. 21

## IV. デイサービスセンター

1. デイサービスセンター利用状況 …P. 22
2. デイサービスセンター行事状況 …P. 23

## V. 在宅介護支援センター

1. 居宅介護支 …P. 25
2. シルバーハウジング …P. 26

## VI. 入善町地域包括支援センター

1. 相談総数 …P. 28
2. 予防ケアマネジメント …P. 28
3. 総合相談 …P. 29
4. 実態把握調査 …P. 29
5. 地域ケア会議 …P. 30
6. その他 …P. 30

# I. 法人本部

## 1. おあしす新川事業

### 1) 法人の概要

(1) 主たる事務所の所在地	富山県下新川郡入善町上野2803番地
(2) 代表者氏名	理事長 中瀬 範 幸
(3) 法人認可年月日	平成12年3月23日
(4) 認可番号	富山県指令高第556号
(5) 設立登記年月日	平成12年4月4日

### 2) 法人の行う事業

#### 第1種社会福祉事業

①事業所名	介護老人福祉施設
②施設名称	特別養護老人ホーム おあしす新川
③定員	110名 (内 ユニット型 60名)

#### 第2種社会福祉事業

##### (イ) 老人デイサービスセンター

①事業所名	指定居宅サービス事業所 (通所介護)
②施設名称	デイサービスセンター おあしす新川
③定員	35名

##### (ロ) 老人短期入所事業

①事業所名	指定居宅サービス事業所 (ショートステイ)
②施設名称	特別養護老人ホーム おあしす新川
③定員	20名

##### (ハ) 老人介護支援センター

①事業所名	指定居宅介護支援事業所
②施設名称	在宅介護支援センター おあしす新川

#### 公益事業

##### (イ) 地域包括支援センター

①事業所名	・ 介護予防支援事業所 ・ 地域包括支援事業所
②施設名称	入善町地域包括支援センター

### 3) 役員等の状況

(1) 定款上の定数	
① 役員	10名 [理事8名、監事2名]
② 評議員	9名
(2) 役員・評議員名簿	
・役員 任期 R1.6.13 定時評議員会終結時～ R3 定時評議員会終結時	・評議員 任期 H29.4.1～R3 定時評議員会終結時

#### <役員>

役員名	氏名	備考
理事	中瀬 範幸	理事長
理事	米澤 茂美	副理事長
理事	田中 広司	
理事	松倉 昭二	
理事	神子沢 喜彦	施設長
理事	井上 理絵	
理事	上田 茂	事務長
理事	廣田 美津子	特養ホーム部長
監事	大角 明	
監事	海野 進	

#### <評議員>

氏名	推薦団体等
坂東 慶幸	特別養護老人ホーム家族会会長
三谷 良治	入善町民生児童委員代表
川田 保	上原地区社会福祉協議会会長
長谷川 和江	ボランティア団体代表
室 均	社会福祉事業団体代表
目澤 晴彦	学識経験者
上田 和男	入善町経営者協会代表
※任期 R. 1. 5. 29～R5 定時評議員会終結時	
水野 勝利	入善町区長連絡協議会
柏原 敬子	入善女性団体連絡会

### 4) 理事会・評議員会等開催の状況

第1回理事会（令和元年5月9日）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空調機器の更新について</li> <li>2. 役員、評議員の候補者案について</li> <li>3. 評議員選任・解任委員の選任について</li> <li>4. 評議員選任・解任委員会の開催日時について</li> </ol>
------------------	---

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 第2回理事会（令和元年5月28日）                | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成30年度事業報告の承認について</li> <li>2. 平成30年度収支決算の承認について</li> <li>3. 評議員及び次期役員候補者の選考について</li> <li>4. 施設長の解任について</li> <li>5. 給与規程の一部改正について</li> <li>6. 就業規則の一部改正について</li> <li>7. 評議員会の開催について</li> </ol> |
| 定時評議員会（令和元年6月13日）                | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成30年度事業報告の承認について</li> <li>2. 平成30年度収支決算の承認について</li> <li>3. 理事・監事の選任について</li> </ol>   |
| 第3回理事会（令和元年6月14日）                | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事長の選定について</li> <li>2. 副理事長の選定について</li> <li>3. 施設長の選任について</li> <li>4. 臨時職員就業規則の一部改正について</li> </ol>  |
| 第4回理事会（令和元年7月2日）                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度補正予算案（第1次）について</li> <li>2. 評議員会の開催について</li> </ol>  |
| 第2回評議員会（令和元年7月10日）               | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度補正予算案（第1次）について</li> </ol>  |
| 第5回理事会（令和元年9月17日）                | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別養護老人ホームおあしす新川設備更新工事請負契約について</li> </ol>  |
| 理事会の決議の目的である事項の提案<br>（令和元年9月25日） | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 借入金保証人の解除について</li> </ol>  |
| 第6回理事会（令和元年11月19日）               | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・設備更新工事費支出に係る借入金について</li> </ul> </li> <li>2. 評議員会の開催について</li> </ol>   |
| 第3回評議員会（令和元年11月28日）              | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和元年度上半期事業報告及び収支報告</li> </ol>   |
| 第7回理事会（令和2年1月21日）                | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支状況について</li> <li>・施設利用状況</li> </ul> </li> </ol>   |

第8回理事会（令和2年3月17日）

1. 令和元年度補正予算（第2次）について
2. 理事長報酬の変更について
3. 役員及び評議員等の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について
4. 給与規程の一部改正について
5. 令和2年度事業計画について
6. 令和2年度収支予算について
7. 評議員会の開催について

第4回評議員会（令和2年3月25日）

1. 令和元年度補正予算（第2次）について
2. 理事長報酬の変更について
3. 役員及び評議員等の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について
4. 令和2年度事業計画について
5. 令和2年度収支予算について

#### 5) 監事の監査状況

第1回 監査会（令和元年5月13日）

1. 平成30年度事業報告
2. 平成30年度収支決算

第2回 監査会（令和元年11月12日）

1. 令和元年度上半期事業について
2. 令和元年度上半期収支について

#### 6) 資産の状況

##### 基本財産

- |     |                   |  |
|-----|-------------------|--|
| (1) | 預金                | 15,000,000円  |
| (2) | 建物                | 特別養護老人ホームおあしす新川 1棟   |
|     | (鉄骨・鉄筋コンクリート造2階建) | 延床面積 3,637.37㎡   |
|     | (鉄筋コンクリート造3階建)    | 延床面積 1,364.74㎡   |
|     | (鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建) | 延床面積 1,459.38㎡   |
| (3) | 土地                | 富山県下新川郡入善町上野 2806番、2807番、2808番、2809番<br>特別養護老人ホーム敷地 7,670㎡ |

## 7) 借入金の状況

	令和元年度返済内容			令和2年度以降返済内容		
	元金	利息	返済額	元金残高	利息残高	返済額
特養ホーム建設事業資金借入						
独立行政法人 福祉医療機構	13,380,000	535,200	13,915,200	13,380,000	267,600	13,647,600
当初 H13.1.5 267,600,000円借入	入善町債務負担	法人負担				
元金均等年賦 利率 2.000%						
20年 返済期限 R2.12.10						
特養ホーム整備資金借入 (増築分)	11,250,000	1,147,500	12,397,500	56,250,000	2,868,750	59,118,750
独立行政法人 福祉医療機構	4,464,450	573,750				
当初 H16.11.9 225,000,000円借入	入善町債務負担	入善町債務負担				
元金均等年賦 利率 1.700%	6,785,550	573,750				
20年 返済期限 R6.10.10	法人負担	法人負担				
特養ホーム整備資金借入 (増築分)	10,000,000	325,000	10,325,000	40,000,000	651,244	40,651,244
富山銀行 入善支店	入善町債務負担	法人負担				
当初 H26.2.20 100,000,000円借入						
元金均等年賦 利率 0.650%						
10年 返済期限 R5.7.31						
特養ホーム整備資金借入 (増築分)	7,000,000	238,652	7,238,652	28,000,000	357,487	28,357,487
北陸銀行 入善支店	法人負担	法人負担				
当初 H26.1.15 70,000,000円借入						
元金均等年賦 利率 0.850%						
10年 返済期限 R5.7.31						
車輛購入借入	871,000	15,590	886,590	1,655,000	11,481	1,666,481
富山銀行 入善支店	法人負担	法人負担				
当初 2017.5.26 4,000,000円借入						
元金均等年賦 利率 0.700%						
1か月毎 5年 返済期限 R4.4.30						
空調設備借入	662,647	8,263	670,910	19,337,353	119,049	19,456,402
みな穂農業協同組合	法人負担	法人負担				
当初 R 2.1.30 20,000,000円借入						
元金均等年賦 利率						
1か月毎 5年 返済期限 R7.1.29						
計	43,163,647	2,270,205	45,433,852	158,622,353	4,275,611	162,897,964
入善町債務負担	27,844,450	573,750	28,418,200	75,702,250	1,434,375	77,136,625
法人負担	15,319,197	1,696,455	17,015,652	82,920,103	2,841,236	85,761,339
計	43,163,647	2,270,205	45,433,852	158,622,353	4,275,611	162,897,964

8)職員配置状況

(令和2年3月31日現在)

(1) 特別養護老人ホーム(ユニット型施設を含む)、デイサービス、在宅介護支援センター

		施設長	センター長	事務員	相談員	管理栄養士	介護支援専門員	介護職	看護職	清掃等	運転手	計	H30	前年差
特養	正職員	1		5	2	2	2	51	5			68	68	0
	臨職等							26	5	5		36	40	-4
デイ	正職員		(1)		2(1)	(2)		(1)	1			3	3	0
	臨職等							9	1		4	14	14	0
在宅支	正職員		管理者(1)				1					1	1	0
	臨職等				4							4	4	0
正職員計		1	0	5	4	2	3	51	6	0	0	72	72	0
臨職等計		0	0	0	4	0	0	35	6	5	4	54	58	-4

\* ( ) は兼務

(2) 入善町地域包括支援センター【委託事業】

○不在であった保健師等の入職により、包括支援センターに必要な3職種が充足した。

	センター長	管理者	主任介護支援専門員	保健師等	社会福祉士	介護支援専門員	計	H30	前年差
正職員	(1)	(1)	1	1	1	4	7	5	2
臨時等						1	1	2	-1

\* ( ) は兼務

(3) 全職員 (1) + (2)

在職職員数	休職者、医師除く	H30	前年差
正職員	79	77	2
臨時職員等	55	60	-5
計	134	137	-3

(4) 入退職状況(正職)

	施設長	介護職	看護職	管理栄養士	看護職(包括)	介護支援専門員(包括)	計	H30	前年差
退職	1	3		1			5	5	0
入職	1	3	1	1	1	1	8	4	4

(5) シルバー人材センター派遣

○これまで、法人職員であった運転業務員の欠員をシルバー人材センターからの派遣とした。

これにより3人の運転業務を5人交代で業務することになった。

部署名	職種	計	H30	前年差
管理課	宿直員	3	3	0
ホーム	清掃等	6	4	2
ホーム デイサービス	運転業務	5	0	5
計		14	7	7

## 2. 令和元年度取り組み事業（法人全般）

### 1) はじめに

入善町における高齢者の状況とおあしす新川が提供する福祉サービスの状況を示した。

#### (1) 入善町の人口に占める高齢者数

R2.3 末

区分	人数	備 考
人口	24,362	
65 歳以上	8,684	人口の 35.6%
75 歳以上	4,628	人口の 19.0%

#### (2) 高齢者の状況

区分	人数	詳細区分	人数	備 考
一般高齢者	6,914			
① 介護予防	609	事業対象者	110	
		要支援 1	350	
		要支援 2	149	
② 要 介 護	1,161	要介護 1	402	施設入所 可能な方
		要介護 2	170	
		要介護 3	154	
		要介護 4	227	
		要介護 5	208	
小計①+②	1,770		589	要介護 3 以上
計	8,684			

#### (3) 施設サービス提供の状況

項目	人数	備 考
施設入所可能な方	589 人	要介護 3 以上
おあしす新川入所者	110 人	
サービス提供の 状況	18.7%	

#### (4) 在宅サービスの提供状況

項目	人数・割合	備 考	
福祉サービス対象者	1,770 人	介護予防・要介護	
おあしす新川デイサービス おあしす新川ショートステイ	約 170 人	定員 35 人 定員 20 人	それぞれの利用 者は約 100 人で 約 30 人が重複
サービス提供の状況	約 10%		

### 2) ガバナンスの強化

(1) 経営会議の設置

- ・12/9、2/28、3/9の3回にわたり開催し、組織の方針、予算など重要事項に関する意思決定の明確化をはかった。
- ・構成：理事長、副理事長、施設長、事務長、特養部長

(2) 戦略会議の設置

- ・7/5、12/23、1/10、2/10の4回にわたり開催し、経営会議から指示された収益向上、経費削減、負担軽減となる機材の導入、人材育成など重要課題について取組み方法を協議した。
- ・構成：副理事長、施設長、事務長、特養部長

(3) 組織機構の見直し

- ・介護長不在時の円滑な業務の遂行のため、副介護長の役割と手当額を見直した。また、リーダーの業務内容に鑑み手当の新設について見直しを行った。

(4) 福祉サービスに関する苦情解決状況

- ・サービス利用者からの苦情を福祉サービスの質の向上につなげるため、法人全体で苦情の解決を図る。
- ・サービス利用者が適切に福祉サービスを利用できるよう、外部の苦情解決第三者委員による、中立・公平な立場での苦情解決を図る。
- ・苦情に関する件数は0件だったが、状況を把握するため利用者、入居者及び家族に対しサービス利用満足度調査の実施に向け準備を行った。

**3) 組織の活性化**

(1) キャリアプランの見直し

- ・職員が職務に対するモチベーションを高め、将来を描けるキャリアプランとなるよう見直しを行った。あわせて役職と給与格付け及びリーダーの位置づけについて見直しを行った。

(2) 人事異動

- ・勤続年数及び人事評価をもとに役職の配置バランスを是正するため、12/1付で18名の昇任を行った。

(3) 人事評価

- ・自己評価と所属長評価を実施した。
- ・自己評価については、自らの成長意欲を引き出すことを狙いに、前回の自己評価と比較した結果に、コメント添付し返還した。

(4) 職員研修（別表①②③）

- ・例年通り高齢者福祉施設における必須研修をメインに、各種サービス向上に関するもの、階層関連のものなど年間計画に基づいて実施した。
- ・特に施設内研修は、全職員（非常勤も含め）が参加できるように配慮した。
- ・外部研修の参加は、職種はもちろん経験年齢や階層別を考慮して配慮した。
- ・参加した職員は、研修で学び、気づいたことを大なり小なり現場業務（ケア）の見直しや改善などに活かしている。今後は、業務（ケア）改善などを提案し、全体で共有できるような体制を目指したい。
- ・職員の資格取得状況は、介護職員初任者・実務者研修受講支援は該当なし、介護支援専門員更新支援は1名、介護福祉士資格取得者が1名だった。

#### 4) 経営の安定化（別表④）

##### (1) 収入の確保

- ・稼働率を高めるため、退所から入所までの空室期間を極力短縮するよう努めた。平成30年度空き室平均は10日で令和元年度は9日となり、1日短縮した。
- ・また、医師と連携しながら看取り介護を推進したことにより長期入院が減少した。看取り介護による加算は、30日を上限に13件で634,320円であった。

##### (2) 経費の節減

- ・給食食材費については、安定供給の契約を結び購入時は、複数業者から安価な食材を調達した。そのほかにも契約にあたっては、複数業者の入札等の実施を基本として取り組んだ。
- ・建築基準法による非常灯交換の指導については、当初LEDへの交換で3,531,000円の見積もりだったが、電球交換からバッテリー交換のみの提案を検討したところ同様の効果で1,672,000円となり1,859,000円の節減となった。
- ・空調工事に関連して、ガスから電気へ移行したためガス費用がなくなり、電気のみとなったが、光熱費は3カ月で1,950,576円の節減となった。
- ・デイサービスの特殊浴槽（座椅子型浴槽）が故障し修理不能となった。新しいものは約880万円で、納入までに相当の期間を要することから、タイミングよく良質な中古物件330万円があったため、予算を補正して対応。早期納入と550万円の経費節減となった。

##### (3) 入所に関する受け入れ状況

- ・「富山県特別養護老人ホーム入所指針」に従って、第三者委員を含む入所検討委員会を3ヶ月毎に開催した。（令和元年6月、9月、12月、令和2年3月）
- ・入所検討委員会で審議された結果を踏まえて、新規入所者の選定を随時行った。（令和元年度の新規入所者20名）

#### 5) 人材確保対策

### (1) 定年延長

- ・職員が不足する状況で、退職補充が困難なことから、定年を60歳から66歳に延長した。これにより60歳を超えた職員が5人勤務した。  
うち1名は、他の職場を定年退職した人からの応募で、即戦力職員として採用することができた。

### (2) 紹介制度

- ・制度の創設により、職員による紹介が1名あり、採用につながった。  
紹介職員、採用職員それぞれに対し報奨金を支払った。  
1件、2名、6万円（紹介職員3万円 採用職員3万円）

## 6) 離職防止対策

### (1) 処遇改善及び一時金の支払い

- ・従来の処遇改善のほか特定処遇改善が加算され、対象職員に支給した。
- ・臨時職員の時給単価に資格手当相当を加算した。

### (2) 福利厚生

- ・職員の被服費としてユニフォームを支給した。
- ・職員の交流親睦を図るため、カレーパーティ、クリスマスケーキバイキング、バレンタインデーに感謝の言葉を伝える小さなイベントを実施した。

### (3) 有給休暇の取得促進

- ・働き方改革により、有給休暇5日以上の取得が義務付けられたため、計画的に取得を促進した。その結果、平成30年度1人当たり4.2日から令和元年度は8.1日となった。私生活の充実を図るため今後も促進する。

### (4) 子育てをしている職員への配慮

- ・妊娠している職員、育休復帰職員など該当する5名の職員に対し、時短勤務、日勤業務など、働きやすい環境づくりに配慮した。

## 7) 職場環境整備

### (1) 施設のイメージアップ

- ・修繕費のうち812,800円をかけて、特養とデイサービス入口の看板、特養玄関ピロティ側面に新たな文字看板、大ホール窓ガラスの交換、駐車場の白線引き直しなど施設のイメージアップを図った。
- ・入所者、家族、職員が居心地のいい施設となるよう内外の清掃、整理整頓を行った。
- ・空調工事に関連し、来所者向けエネルギーマネジメントシステムのモニター

を玄関に設置、電気使用量の可視化と施設行事紹介を流せるようにした。

## 8) 顧客満足度の向上

### (1) 食事提供 (別表⑤⑥)

- ・「食べる楽しみ」となるように工夫をして提供した。
- ・地元の食材・季節の食材を活かした「行事食」、「リクエストメニュー」を取り入れ、献立にメッセージカードを添えて提供した。
- ・クックチル (h26.6~) とニュークックチル (h27.4~) の導入で、計画調理を実施することで献立にバリエーションが増した。それにより食数を増やすことが可能になり業務を簡素化することも可能になった。
- ・今後は、今ある調理機器の活用法をさらに研究し、美味しい食事の提供と効率性を目指す。

### (2) 満足度アンケートの実施

- ・入居者及び家族からの要望を把握するために、サービス利用満足度調査の実施に向けた準備を行った。

### (3) パーソンセンタードケアの導入

- ・まずパーソンセンタードケアを学び理解を深め、「良い働きかけ」をグループ (部署単位) で実施し評価した。
- ・これによって「良い働きかけ」に対する意識が深まり、行動に繋がった。入所者への介護の質の向上のみならず、職員の資質の向上が期待できる。今後も継続するためにテーマを決めて全体で取り組んでいくこととした。

### (4) 事故防止対策の取組み (別表⑦⑧⑨)

- ・事故内訳は、加傷、転倒、誤薬の順で多かった。
- ・受診に至った事故 (行政報告事故) 件数 (12 件) は、前年度 (19 件) と比べ減っている。重度事故は 4 件、中度事故は 4 件、軽度事故は 4 件であった。12 件中、転倒・転落事故が 9 件。原因不明が 3 件。また骨折事故は 4 件、加傷事は 4 件であった。
- ・誤薬事故の内訳を「重大なもの」と「軽微なもの」に分類した。
- ・現場職員の事故防止に対する意識は、高くなってきたと思われる。
- ・歩行できない方の転倒・転落防止策はしっかり申し合わせていきたい。
- ・歩行可能な方、また立ち上がれるが歩行できない方の転倒・転落予防については、継続して転倒リスクを家族と共有しつつ、事故防止に努めていかなければならない。
- ・原因不明な件に関しては、日頃の生活・身体状況を関係者間で共有し、早期発見に努めていかなければならない。
- ・誤薬に関しては、「絶対に起こさない」という強い意識を持ち、継続して取り組む。

### (5) 介護マニュアルの見直し

- ・まず、9月に施設内研修を開催し高齢者虐待について学び、その後、9月27日、11月29日にサービス向上委員会を開催した。既存の「高齢者虐待防止マニュアル」の見直しと共通認識を図り、修正したマニュアルを現場に整備した。

#### (6) 理学療法士及び歯科衛生士の活用の検討・実施

- ・歯科衛生士による「訪問歯科」の導入により、口腔衛生加算（対象者33名）はもとより、現場職員の口腔ケアに対する意識がさらに高まった。理学療法士の導入については、引き続き検討を継続する。

#### (7) 入所者のプロフィールの作成手法の確立（継続）

- ・書式が複数あり、現場によって活用の仕方にバラつきがあり進まなかった。
- ・入居者様ご家族様の意向やその人らしさなどを知るために、もっと積極的な取り組み方を実施することが課題である。

#### (8) 介護職員の負担の軽減（継続）

- ・iPadの導入（特養に11台購入）により、「ほのぼのシステム」を活用して各現場の「日誌」をはじめ、「事故報告書」、「身体拘束適正化報告書」の作成ができるようになった。報告書の作成～提出に関しては、まだ足並みの揃わない処はあるが、情報の共有化は狙いどおりであった。

#### (9) 看取り介護の推進

- ・令和元年度の看取り介護での退所者は13名だった。今後も入所者や家族の意向確認、看取り介護と介護体制の見直しを図り、サービスの向上に取り組んでいきたい。

### 9) 地域ニーズへ応えられる施設づくり

#### (1) 地域貢献

- ・平成23年度以降、町との契約により災害時の福祉避難所となっている。
- ・高齢者、障害者、子育てサロンまちカフェ「ほっと」の運営に協力した。
- ・実習生、研修生を受け入れた。

#### (2) ボランティアの受け入れ

- ・日赤清掃ボランティアをはじめ、約15団体の協力をいただいた。

### 10) 施設設備の長寿命化

- ・特養ホームあおぞら棟の空調設備を総事業費 121,550,000円（税込）で更新した。あわせて照明をLEDに更新したことから、快適な環境の提供と大幅な省エネ効果が期待できる。

別表

① 施設内研修

開催日	研修内容	参加	備考
6月27日	感染症について	34人	厚生センター(大江浩氏)
6月28日	トロミ剤について	18人	キッセイ薬品
7月29、30日	パーソンセンタードケアを理解しよう①	61人	県福祉カレッジ(田中雅子氏)
9月13、17日	高齢者虐待防止について	59人	富山短期大学(井上絵里氏)
10月28、29日	心肺蘇生法とAEDの使用・実技	38人	新川地域消防組合
10月11日	おむつの当て方		オムツフィットター
12月3、4日	パーソンセンタードケアを理解しよう②	60人	県福祉カレッジ(田中雅子氏)
12月9日	おむつの当て方		オムツフィットター
1月21、29日	主任・副主任の役割と心構え	26人	富山短期大学(井上絵里氏)
2月18日	看取り介護について	9人	看取り会議にて開催
2月19日	感染対策マニュアルの周知徹底	12人	委員会にて開催

② 施設外研修

開催月	研修名	参加人数
5月22日	褥瘡セミナーin黒部2019	1名
6月1日	腰痛予防研修Aコース	1名
6月4日	らくらく介護講座(口腔ケア)	2名
6月14日	介護支援専門員法定研修ファクシリテーター養成研修	1名
6月13日	介護実習指導者会議	1名
6月15日	腰痛予防研修Bコース	1名
6月18日	らくらく介護講座(嚥下・食事)	1名
7月4日	中堅職員研修	1名
7月3日	キャラバンメイト養成研修	1名
7月7日	スキルアップ研修(課題整理総括表及び評価表の活用)	1名
8月6日	らくらく介護講座(移乗関連)	1名
10月31日	認知症介護実践研修 第2期	1名
10月8日	富山県老人福祉協議会 看護部会	1名
10月18日	ユニットリーダー研修(実習)	1名
10月15日	介護サービス苦情・相談担当者研修会	2名
10月15日	高齢者虐待対応研修	1名
11月7日	ユニットケア研修フォーラム2019 東京	3名
11月14日	新川厚生センター管内看護職員実務研修会	1名
11月25日	新川圏域における栄養管理体制整備事業等研修会	4名
12月5日	喀痰吸引等の実施研修	3名
1月12日	誤嚥予防のポジショニングと食事ケアの技術研修	1名
2月9日	認知症ケア研修(応用編)	1名

③ 研修生・実習生受け入れ状況

団体名	研修目的	日数	人数
入善西中学校	令和元年度14歳の挑戦	5日間	4人
入善中学校	令和元年度14歳の挑戦	5日間	4人
入善町社会福祉協議会	介護職員新任者研修	1日間	4人
介護労働安定センター	実務者研修課程	5日間	1人
富山医療福祉専門学校	介護実習Ⅰ	10日間	1人
富山福祉短期大学	介護実習Ⅱ	20日間	1人

#### ④ 経営指標

指標等	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	備考
人件費率	64.9%	67.2%	66.1%	68.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支給日変更 12,700 千円を除いた場合は 66.3%</li> <li>・特養のみ全体で 64.0% &lt;H30 全国平均&gt; 従来型 64.8% ユニット型 64.2%</li> </ul>
稼働率（特養）	95.1%	95.7%	98.0%	98.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入所事務の迅速化</li> <li>・長期入院の減少</li> </ul>
稼働率 （ショートステイ）	92.4%	<u>66.7%</u>	82.5%	94.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 20 人に対し、18.9 人で稼働</li> </ul>
経費率	28.1%	<u>28.8%</u>	25.4%	25.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス活動収益に対する経費の占める割合</li> </ul>
労働生産性（千円）	4,026	3,949	4,289	4,331	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人当たりの生み出した付加価値</li> </ul>
労働分配率	97.0%	<u>100.9%</u>	94.8%	97.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付加価値が人件費にどれだけ分配されているか</li> </ul>
入院率	4.2%	2.3%	1.4%	1.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院による空き室の率</li> </ul>
入所事務（空室日数）	約 14 日	約 14 日	10 日	9 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入退所による空き日数</li> </ul>
要介護度	4.1	4.2	4.2	4.3	

#### ⑤ 栄養提供状況

	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	亜鉛	レチノール当量	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
	kcal	g	g	g	mg	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
平均	1,446	56	36	216	651	10	10	854	1	1	94	6
基準値	1,450	55	36	216	600	10	10	659	1	1	100	7
過不足率(%)	99.7	101.3	101.8	100.1	108.4	98.3	98.7	129.6	119.3	93.3	94.3	91.4

## ⑥ 行事食

開催日	行事	内容
4月11日	お花見御膳	筍ご飯、桜エビの卵焼き、アスパラ胡麻和え、茶そば、桜ゼリー(プリン)
5月5日	端午の節句	青菜ごはん、鯉のぼりハンバーグ、サラダ、スープ、かしわもちりプリン
6月16日	スイーツバイキング	プリン、ゼリー
7月7日	七夕御膳	ちらし寿司、金目鯛照り焼き、七夕そうめん、七夕ゼリー
7月27日	土用の丑	うな井
9月11日	敬老会	紅白まんじゅう、上生菓子、ケーキ、プリン
10月6日	お祝い	ホールケーキ、プリン
10月25日	紅葉御膳	山菜ごはん、鮭ときのこのホイル焼き、べっこう、さつま汁、モンブラン
11月24日	プリンバイキング	プリン、ゼリー
11月24日	パンケーキ作り	パンケーキ、プリン
12月22日	冬至	南瓜の煮物
12月22日	クリスマスパーティー	クリスマスケーキ、プリン、シャンメリー、ジュース
12月25日	クリスマス食	チキンライス、もみの木ハンバーグ、ポテトサラダ、スープ、デザート
12月31日	大晦日	年越しそば お神酒
1月1日	お正月	お神酒、赤飯、お雑煮、おせち盛り合わせ、紅白饅頭(ゼリー)
1月2日	お正月	青菜ごはん、おせち盛り合わせ、すまし汁、干支おやき(水ようかん)
1月3日	お正月	炊き込みごはん、松風焼、煮しめ、桜団子(ムース)
1月7日	七草	七草粥
1月15日	左義長	甘酒
2月3日	節分・豆まき	ちらし寿司、豆腐のあんかけ、五目豆、鯛のつみれ汁、節分デザート
2月3日	節分おやつ	へそまんじゅう、水ようかん
2月16日	スイーツバイキング	ケーキ、プリン、上生菓子、水ようかん
3月3日	ひな祭り	桜ちらし、金目鯛のかぶら蒸し、すまし汁、3色水ようかん
3月3日	ひな祭りお茶会	桜餅、さくら葛ごり、いちご饅頭、抹茶

## ⑦ 介護事故状況

	転倒	転落	ずり落ち	加傷	打撲	誤嚥	異食	火傷	誤薬	無断外出	連絡ミス	その他	事故合計	異常時対応	行政報告	損害保険
デイサービス	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1		
ショートステイ	26	2	6	9	1	0	0	0	15	0	1	10	70	3	4	5
あおぞら 特養	9	6	10	23	3	2	7	0	16	1	0	3	80	1	4	4
そよかぜ 特養	2	4	7	22	0	7	4	0	8	0	0	2	56	1	1	2
かがやき 特養	7	3	3	13	2	1	0	0	10	0	0	1	40	2	3	3
合計	47	16	26	68	6	10	11	0	49	1	1	16	251	8	12	14

H30年度	43	23	30	84	6	12	6	0	46	0	1	35	286	9	19	19
H29年度	48	9	25	69	7	7	9	0	29	4	2	26	235	11	8	9

⑧ 受診に至った事故状況（12件）

事故分類	重大	中度	軽度	合計
転倒	2	3	3	8
転落	0	1	0	1
原因不明	2	0	1	3
合計	4	4	4	12

⑨ 誤薬事故状況（49件）

誤薬の 分類	重大		軽微	
	人間ミスで 重大なもの	分量や時間ミス、飲み忘れ などで重大なもの	人間ミスで 軽微なもの	分量や時間ミス、飲み忘れ などで軽微なもの
49の内訳	2	3	1	43

## Ⅱ. 特別養護老人ホーム

はじめに

令和元年度特別養護老人ホームは稼働率は前年比を上回った。

要因として、①入院率の減少（平均 1.6%）、②入退所時に掛かる所要日数の短縮（令和元年度平均所要日数は 9 日、平成 30 年度平均所要日数は 10 日）③空きベットの活用（7 人分）などが上げられる。

①については看護と介護の連携と、主治医の協力が重要である。

②については、退所後に関係者間でのスムーズな連携が求められる。

③については、空きベットの活用を、常に全員で意識していくことが大切である。

その他、看取り介護の提供（令和元年度 13 名）によりご家族様からは概ね感謝の言葉をいただいた。看取り介護については、今後も関係職種が協力して、お一人おひとりに添い、丁寧な対応を心掛けていくことが大切であると考えます。以上から、今後は成果の上がった要因を継続するために、特養全体で共通の理解ができ、そして取り組む更なる努力が必要である。

### 1. 令和元年度重点目標取り組み事項報告

#### 1) 入居者様に寄り添う

・パーソンセンタードケアの取り組みから、「適切な働きかけ」を理解し、自己を反省し、良い働きかけを意識しつつ行動に出す努力を、お互いに声掛け合ってきた。また、身体拘束適正化や褥瘡予防の取り組みから、入居者様の意向を捉えつつ、安全・安心な取り組みを進めてきた。

#### 2) 誰もが同じケアができる

・サービス向上委員会（排泄係）では、オムツフッターによる勉強会を開催し、オムツ製品や当て方などの指導を受け、排泄ケアに関する意識を高めた。

・今年度から歯科衛生士の指導を受けることで口腔ケアに対する意識が高まり、取り組む姿勢が定着してきた。

#### 3) 認知症の理解を深める

・今年度のパーソンセンタードケアの取り組みから認知症について学び、適切な働きかけが認知症ケアにどれだけ有意義であるか理解を深めることができた。また、適切な働きかけを継続していきたいとの現場の声から、次年度も意識して取り組んでいく。



### 3. 特別養護老人ホーム活動状況

令和2年3月31日現在

	行 事 名	内 容
4月	家族会監査会・役員会（11日）	家族会監査、家族会役員会
	花見	施設周辺を散歩
	花見御膳（10日）	筍ごはん、桜エビの卵焼き、アスパラごま和え、茶そば、さくらゼリー
	フラワーロード散策	にゅうぜんフラワーロード見学
5月	しょうぶ湯（3日～5日）	しょうぶ湯に入り季節感を味わう
	母の日（12日）	プレゼント（カーネーションアレンジメント等）
	入善ドライブ（19日）	入善町内をドライブ
	家族会総会（26日）	事業決算報告、事業計画案、予算案について（30名出席）
	ショッピング（29日）	きららの里でショッピング
6月	プリンバイキング（10日）	好きなプリンを選んで食べる
	父の日（16日）	プレゼント、スイーツバイキング
	観音祭り（18～20日）	地元行事見学
	家族会役員会（26日）	行事検討
	ドライブ（28日）	入善町や朝日町をドライブ
7月	保育所交流会（9日）	にゅうぜん保育所から慰問
	お寿司ランチ（17日）	はま寿司でランチ
	特別メニュー（27日）	うなぎの蒲焼、アスパラ辛子みそ和え、すまし汁、りんごの赤ワイン煮
	夏祭り（21日）	模擬店、山彦民謡協会、盆踊り 参加者：入居者83名、ショートステイ利用者15名、御家族89名、デイサービス利用者・御家族16名、ボランティア43名、来賓15名、職員67名 合計328名
	白寿祝い（27日）	かがやき入所者の白寿を祝う
8月	ドライブ（2日）	宇奈月温泉周辺ドライブ
	法話会（7日）	浄蓮寺住職から読経法話
	クッキング（17日）	フルーチェを作って食べる
	入所者健診（19日、20日）	入所者健康診断
	外出カフェ（23日）	グラチネでスイーツとドリンクを楽しむ
	家族会役員会（28日）	夏祭り実施報告・決算等について、行事検討
	ドライブ&カフェ（27日）	YKKセンターパークカフェへ出掛ける
9月	敬老会（11日）	さわすぎ保育所（歌と踊り）、微笑の会（演芸）、スイーツバイキング（上生菓子、ケーキ等） 参加者：入居者92名、ショートステイ利用者13名、御家族47名、さわすぎ保育所22名、微笑の会19名、職員26名 合計219名
	米寿を祝う会（18日）	米寿の祝い（5名対象）

10月	合同誕生会（6日）	かがやき10月生まれの方の合同誕生会
	もみじ御膳（25日）	山菜ごはん、鮭の和風ホイル焼き、べっこう、さつま汁、モンブラン
	家族会防災訓練（26日）	家族会緊急電話連絡訓練
	大運動会（27日）	ラジオ体操、パン食い競争、借り物競争
11月	カフェ外出（3日）	グラチネでスイーツとドリンクを楽しむ
	外食・紅葉狩りドライブ（13日）	はま寿司で外食、宇奈月温泉周辺ドライブ
	扇状地マラソン（17日）	扇状地マラソン見学
	外食（17日）	8番らーめんてラーメンを食べる
	パンケーキパーティー（24日）	パンケーキを焼いて食べる
	スイーツバイキング（24日）	季節のスイーツ（かぼちゃプリン、安納芋プリン、お茶プリン、梨ゼリー）を楽しむ
12月	スイートポテト作り（8日）	スイートポテトを作って食べる
	ゆず湯	ゆず湯に入り季節感を味わう
	もちつき大会（11日）	餅つき大会、ご家族とおやつ（おはぎ、水ようかん） 参加者：入所者74名、ショートステイ利用者9名、御家族44名、職員28名 合計155名
	クリスマス会	おやつ（クリスマスケーキ・プリン）、クリスマスプレゼント
1月	新年会（元旦）	新春ビンゴゲーム大会
	正月料理（元旦）	お神酒、赤飯、お雑煮、おせち盛り合わせ、紅白なます、みかん
	ドリンクバー（2日～4日）	好きな飲み物を飲みながら新年を祝う
	100歳祝い（7日）	あおぞら入所者の100歳を祝う
	エコバッグ作り（12日）	新聞紙でエコバッグを作る
	左義長（15日）	左義長見学、甘酒を楽しむ
	おやつ作り（19日）	さつまいも茶巾を作って食べる
	特別メニュー（23日）	ごはん、刺身、長芋の煮物、白菜と人参のお浸し
2月	節分（2日）	節分豆まき・おやつ
	茶寿祝い（15日）	そよかぜ入所者の茶寿を祝う
	バレンタインデー（16日）	プレゼント（チョコレート）、スイーツバイキング（プリン・ケーキ・上生菓子）
	100歳祝い（21日）	あおぞら入所者の100歳を祝う
	おしるこ作り（24日）	おしるこを作って食べる
	お茶会（24日）	抹茶、和菓子
3月	ひな祭り（3日）	ひな祭りお茶会（桜もち・桜ゼリー・抹茶）
	ひな祭り御膳（3日）	桜ちらし、金目鯛のかぶら蒸し、すまし汁、ひなまつり羊羹
	特別メニュー（10日）	ごはん、昆布じめ、アスパラおおかか和え、みそ汁
	ホワイトデー（15日）	ホワイトデーケーキバイキング

### Ⅲ. ショートステイ

はじめに

令和元年度は新規契約者が56名だった。(H30年度は70名)

4月、9月に特養の空床利用多くあり、稼働率が100%を超えた。

令和元年度のショート棟フロア目標を「利用者様、職員共に笑顔で過ごせるショート棟」と挙げ、穏やかに楽しい時間を過ごせる空間作り、「また来たい、来るのが楽しみ」と思っていただけようフロア職員で取り組んだ。日々の利用者の出入りが激しく、新規利用者や緊急利用、在宅との連携から情報収集や情報の共有化が課題である。

#### 1. ショートステイ利用状況

令和2年3月31日現在 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
定員数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	580	620	7,320	610
実利用者数	601	614	561	577	597	606	611	575	593	595	560	571	7,061	588
1日平均	20.0	19.8	18.7	18.6	19.3	20.2	19.7	19.2	19.1	19.1	19.3	18.4		19.3
稼働率	100.2%	99.0%	93.5%	93.1%	96.3%	101.0%	98.5%	95.8%	95.6%	96.0%	96.6%	92.1%		96.5%

\*上記表は、P.18「特別養護老人ホーム利用状況」のショート稼働率と異なり、空きベットを利用した数が反映されている。

\*3月は新型コロナウイルス感染流行の影響で、利用者が減少した。

#### 2. 要支援・要介護度別利用状況

	H31/4	R1/5	R1/6	R1/7	R1/8	R1/9	R1/10	R1/11	R1/12	R2/1	R2/2	R2/3	合計	平均
要支援1	2	1	1	2	3	2		1		1	3	2	18	1.8
要支援2	2	3	3	2		2	2	2	1	1	1	1	20	3.3
要介護1	41	38	41	39	39	39	42	42	41	41	38	38	479	39.9
要介護2	19	17	14	17	17	18	15	14	15	14	14	12	186	15.5
要介護3	14	15	15	17	19	17	18	18	16	13	15	15	192	16
要介護4	12	12	10	7	14	10	11	11	10	9	11	12	129	10.6
要介護5	4	4	5	4	5	7	6	7	9	5	3	3	62	5.2
合計	94	90	89	88	97	95	94	95	92	84	85	83	1,086	90.5

## IV. デイサービスセンター

はじめに

令和元年度利用者1日利用平均者数は27.1人だった。その内訳は総合事業（24%）、介護給付20.4人（75%）だった。身障者は、0.16人（1%）であり平成30年度平均利用者の介護給付18.8人（66%）の割合を上回った。

冬季の新型コロナウイルスの流行の影響を受け、総合延利用者数8,388人は平成30年度の8,451人より減少している。今後も全体の利用者を増やすとともに、介護給付利用者の割合を上げることが課題である。

### 1. デイサービスセンター利用状況

令和2年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均	H30	
事業日数		26	27	25	27	27	25	26	26	25	24	25	26	309	308	
総合事業	事業対象者(実)	3	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1.8	3.8	
	事業対象者(延)	12	14	9	9	8	9	4	4	4	4	4	4	85	184	
	要支援1	実利用者数	12	11	13	13	11	10	12	10	12	12	12	15	11.9	14.2
		延利用者数	44	44	54	50	40	38	46	40	42	46	48	56	548	674
	要支援2	実利用者数	19	20	16	16	16	18	18	19	18	17	17	17	17.6	24.2
		延利用者数	134	130	102	117	116	117	116	122	119	111	110	120	1,414	1,745
	延利用者数		190	188	165	176	164	164	166	166	165	161	162	180	2,047	2,603
平均一日利用者数		7.3077	6.963	6.6	6.5	6.1	6.6	6.4	6.4	6.6	6.7	6.5	6.9	6.6	8.5	
介護給付	要介護1	実利用者数	43	44	44	43	44	41	40	40	38	36	37	39	40.8	41.3
		延利用者数	328	347	333	357	355	330	335	325	296	276	306	315	3,903	3,653
	要介護2	実利用者数	15	12	14	13	12	13	13	11	12	11	11	10	12.3	13.7
		延利用者数	97	72	92	101	98	91	101	78	82	75	80	77	1,044	1,021
	要介護3	実利用者数	9	9	12	11	10	11	11	13	10	10	7	5	9.8	8.8
		延利用者数	63	58	82	73	76	76	69	84	64	55	41	24	765	727
	要介護4	実利用者数	3	5	5	5	8	6	6	7	5	6	9	10	6.3	3.2
		延利用者数	16	31	23	27	42	33	33	34	34	35	49	57	414	201
	要介護5	実利用者数	4	4	2	2	3	3	5	5	4	3	3	4	3.5	3.8
		延利用者数	16	19	8	9	12	11	19	21	14	11	11	14	165	196
	延利用者数		520	527	538	567	583	541	557	542	490	452	487	487	6,291	5,798
	平均一日利用者数		20.0	19.5	21.5	21.0	21.6	21.64	21.423	20.846	19.6	18.833	19.48	18.731	20.4	18.8
	身障者	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
延利用者数		5	4	4	5	2	4	4	4	5	4	4	5	50	50	
平均一日利用者数		0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.16	0.2	
総合実利用者数		109	109	110	106	107	105	107	107	101	97	98	102	104.8	113.8	
総合延利用者数		715	719	707	748	749	709	727	712	660	617	653	672	8,388	8,451	
総合平均一日利用者数		27.50	26.63	28.28	27.70	27.74	28.36	27.96	27.38	26.40	25.71	26.12	25.85	27.1	27.4	

## 2. デイサービスセンター行事状況

令和2年3月31日現在

\*ボランティア

月	内 容
4 月	ビンゴゲーム「花・魚」「動物・野菜」 カラオケ リズム体操「手のひらを太陽に」など カレンダー作り お花見喫茶 バズルゲーム「動物」「野菜」 お花見ドライブ 季節の風呂「桜の湯」等 お花見御膳 おやつ作り「さくら餅」 *ボランティア「マジック」
5 月	カラオケ 折り紙「兜」 喫茶 脳トレ体操 ゲーム「どっちが重いでしょう」 ペタンク カレンダー作り 季節の風呂「菖蒲湯」等 おやつ作り「よもぎ蒸しパン」 *ボランティア「相甚会」
6 月	脳トレ 短冊・七夕飾り作り サイコロ数字消し 何が落ちたゲーム やまびこゲーム カレンダー作り 季節の風呂「よもぎの湯」等 あじさい喫茶 避難訓練 14歳の挑戦によるゲーム(入善西中) *ボランティア「内山微笑会」 唄と踊りの慰問
7 月	ビンゴゲーム「夏」 七夕飾り付け カラオケ 手遊び「かわずの夜回り」 おあしす 夏祭飾りづくり バズルゲーム「動物」「野菜」 七夕喫茶 カレンダー作り 季節の風呂「さわやかミントの湯」等 七夕そうめん おあしす夏まつり *ボランティア「相甚会」
8 月	カラオケ 脳トレ 「ハワイアン」喫茶 カレンダー作り 脳トレ「間違い探し」 ゲーム「どっちが重いでしょう」 季節の風呂「ハワイアンブルーの湯」 「ハイビスカスのアロマバス」等 おやつ作り「どんどん焼き」 *ボランティア「二胡の演奏」
9 月	ビンゴゲーム 「すき焼きとカレー」 ビデオ鑑賞 言葉かくれんぼ 脳トレ ボール・イン・リング カレンダー作り リネン交換 季節の風呂「赤りんごの湯」等 お月見喫茶

月	内 容
10月	壁飾り作り「りんごとくり」 カラオケ ハロウィン喫茶 運動会 手遊び「大きな栗の木の下で」 カレンダー作り おやつ作り「さつまいもの蒸しパン」 季節の風呂「かぼちゃ湯」等 ＊ボランティア「フォークダンス」 14歳の挑戦によるゲーム（入善中） 紅葉狩り
11月	山びこゲーム 脳トレ 紅葉喫茶 正解はどっち 歌詞の穴埋めゲーム カレンダー作り 紅葉狩り 紅葉弁当 季節の風呂「ゆず湯」等 交流「入善保育所年長児」 ＊ボランティア「相撲甚句」 [歌謡舞踊] 介護者教室（10日 日曜日）
12月	クリスマスツリー飾り ビンゴゲーム 脳トレ 連想ゲーム ペタンク カレンダー作り 介護予防体操 ビデオ鑑賞 年忘れお楽しみ会 クリスマス喫茶（ハンドベル演奏） 季節の風呂「どくだみの湯」等 ○ボランティアは冬季感染症対策の為、中止・・・3月末まで
1月	お正月の遊び「かるた」 すき焼きとカレー 脳トレ お茶会喫茶（抹茶） ジグソーパズル 人生すごろくゲーム 新春かくし芸大会（104歳のお祝い） カレンダー作り 季節の風呂「祝い酒の湯」等 お正月祝い膳 梅酒（ノンアルコール）で乾杯 ○ボランティアは冬季感染症対策の為、中止・・・3月末まで
2月	節分 動物パズル 折り紙「コマ」 コマ回し大会 手遊び「鬼のパンツ」「うさぎとかめ」等 季節の風呂「金柑蜂蜜の湯」等 バレンタイン喫茶 節分「へそ饅頭」 ○ボランティアは冬季感染症対策の為、中止・・・3月末まで
3月	脳トレ体操 カードゲーム ビンゴゲーム「春といえば」 菜の花壁飾り作り ＊百歳のお祝い・・・職員の歌と踊り 「花笠音頭」「別れても好きな人」「麦畑」 季節の風呂「よもぎの湯」等 ひなまつり喫茶 ○ボランティアは冬季感染症対策の為、中止・・・3月末まで

## V.在宅介護支援センター

### はじめに

在宅のお年寄りやその家族の方を対象に、介護など生活全般に関する悩み事や相談に応じ、必要な保険、福祉サービスの利用や手続きの支援を行った。

また、シルバーハウジング(高齢者専用住宅・60歳以上対象)の管理・援助業務を受託し入居者に対する生活指導・相談、安否確認などを行った。

### 1. 居宅支援

- ・居宅介護支援の担当件数は月35件、地域包括支援センターからの介護予防支援の受託件数は月4件を目途に行った。
- ・新規契約は11件。他にも担当依頼はあったが、標準件数35件(要介護件数+要支援1/2件数)を上回ることからお断りしたケースが多くあった。必要な方には他の居宅事業所を探し紹介した。
- ・新潟県糸魚川市から介護保険認定調査の依頼を受け1件行った。
- ・新型コロナウイルスの影響で、資格維持のために必要な研修が延期となっている。またケアマネジメント業務では感染拡大防止の観点から3月からはサービス担当者会議を行わず、電話やファックスで意見照会を行った。

#### (1) 居宅介護支援状況(介護度別介護保険サービス利用件数)

令和2年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	H30合計	H30月平均
要介護1	18	19	20	22	23	23	23	22	21	21	21	22	255	21.2	207	17.2
要介護2	4	5	3	2	2	2	2	2	2	2	4	4	34	2.8	79	6.6
要介護3	6	7	6	6	6	6	6	6	7	6	3	2	67	5.6	60	5.0
要介護4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	49	4.1	54	4.5
要介護5	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	14	1.2	25	2.1
合計	32	37	34	35	36	36	36	36	35	34	34	34	419	34.9	425	35.4
事業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309	25.7	307	25.6

#### (2) 介護予防サービス支援状況(介護予防サービス利用件数)

令和2年3月31日現在

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	H30合計	H30月平均
件数	4	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	4	46	3.8	48	4.0

## (3) 在宅福祉サービス適用件数(上記1, 2のほか相談、調整含む)

令和2年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	H30合計	H30月平均
		内容別 相談件数	サービス全般	39	43	47	45	41	36	48	46	49	44	42	42	522	43.5
ホームヘルパー	4		8	1	6	4	0	1	2	2	7	1	8	44	3.7	54	4.5
デイサービス	21		21	16	12	11	8	13	5	7	14	7	11	146	12.2	145	12.1
ショートステイ	15		15	13	18	21	18	28	16	20	25	26	20	235	19.6	178	14.8
入浴サービス	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
給食サービス	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
デイケア	2		3	5	10	9	3	5	4	2	13	4	3	63	5.2	65	5.4
その他	13		18	10	15	15	2	4	6	14	5	9	14	125	10.4	112	9.3
介護方法	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1	0.1
福祉機器	2		1	12	6	6	8	9	5	5	6	2	2	64	5.3	69	5.7
介護用品	0		1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0.2	3	0.3
医療相談	5		7	5	4	3	2	4	7	14	5	2	6	64	5.3	73	6.1
健康相談	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
機能訓練	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
施設入所	2		0	0	2	2	2	3	1	4	4	6	0	26	2.2	34	2.8
訪問看護	1		0	1	1	1	6	1	0	1	1	0	0	13	1.1	7	0.6
住宅改造	0		0	0	0	0	4	7	4	3	0	0	7	25	2.1	25	2.1
心理問題	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
経済問題	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1	0.1
生活問題	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
訪問指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
合計		104	117	110	120	113	89	123	96	121	125	99	113	1,330	110.8	1,391	115.9
事業日数		26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	25	26	309	25.7	307	25.6

## 2. シルバーハウジング

- ・東町町営住宅シルバーハウジング入居者の安否確認など、町から受託し生活援助員を派遣
- ・緊急通報は全部で15件、そのうち救急車要請が1件、その他14件は誤報や通報装置の誤作動で健康上の問題はなかった。
- ・緊急時の迅速な対応と対応事項の確認のため、夜間緊急通報訓練を9回実施した。
- ・長く住まれている方の中には、認知面や身体的な衰えが感じられる方がおられ、安否確認や生活面、健康面での相談対応を行っている。

(1)

シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施状況

令和2年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	H30合計	H30月平均
管理日数	20	19	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	240	20.0	244	20.3
緊急時の対応件数	5	3	0	4	1	0	0	0	0	1	0	1	15	1.2	29	2.4
生活指導相談件数	109	112	111	138	141	103	110	100	108	96	96	110	1,334	111.2	1,241	103.4
一時的家事支援件	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3	0.2	7	0.6
関係機関と連携件	3	1	3	5	1	8	0	3	6	6	0	2	38	3.2	35	2.9
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
合計	117	116	114	147	144	111	111	103	114	103	96	114	1,390	115.8	1,312	109.3

## VI. 入善町地域包括支援センター

### はじめに

- ・高齢者福祉の総合相談窓口の拠点として、地域や各団体に出向いて周知を図った。
- ・相談者には対象者に適した支援となるよう丁寧な対応に努めた。
- ・一般高齢者には、健康維持ができるよう介護予防教室への参加を勧奨した。
- ・要支援状態者には、自立した生活が継続できるような働きかけを行った。
- ・要介護状態者には、相談者に対し、ケアマネジャーの後方支援としての働きかけを行った。
- ・医療との連携は、病院に出向くなど医療関係者と顔の見える関係づくりに努めた。
- ・認知症相談は増加しており、早期発見・治療への支援、疾病の特性やケア方法の理解を呼びかけた。
- ・相談者から「場所がわかりづらい」「個室がなくプライバシーへの配慮が足りない」との意見があった。

### 1. 相談総数

センターは入善町の高齢者の総合相談窓口として設置されている。

対象は、65歳以上の8,700人のほか、65歳以下の疾病など要支援・要介護状態の方の相談にも対応している。

下表は相談の総数を示している。

地域住民の身近な相談窓口として、多様化する高齢者のニーズや複雑化する生活課題に対し迅速な支援を心掛けた。

	(件)									参考
	本人	家族	役場・組合	サービス事業所	居宅支援事業所	医療機関	民生委員	その他	合計	H30合計
電話	323	672	84	567	61	235	22	29	1,993	1,798
訪問	2,237	245	10	110	28	48	4	8	2,690	2,497
来所	66	364	7	81	11	2	22	14	567	431
合計	2,626	1,281	101	758	100	285	48	51	5,250	4,726

### 2. 予防ケアマネジメント

- ・事業対象者、要支援1、2の認定を受けている者は町内に約600名おり、そのうちの約400名が包括支援センターと契約を行い介護予防サービスを利用している。
- ・介護予防支援の報酬は、1件につき毎月4,300円(10月より4,310円)で、新規担当の利用者には3,000円の加算がある。
- ・住宅改修のみの相談報酬は、1件につき2,000円となる。
- ・委託は町内外の居宅支援事業所にケアマネジメントを業務委託した件数である。1件につき3,870円(10月より3,880円、初回加算2,700円)を支払った。
- ・きとくと教室、訪問C、配食サービスは町の総合事業で、センターのケアマネジャー等がケアプランを作成した場合には介護予防ケアマネジメントと同様の報酬がある。
- ・配食サービスは初回のみ3,650円の報酬がある。
- ・センター職員1人当たり平均45名を担当しており、町内のサービス事業所が充実し、多くの高齢者が利用している傾向にある。

(予防給付・総合事業)

(件) 参考

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30合計	
事業対象者	26	27	25	24	24	25	25	24	28	27	27	29	311	422	
要支援 1・2	380	385	383	381	375	371	371	372	367	368	373	369	4,495	4,478	
住宅改修のみ	0	2	3	1	2	0	1	0	3	0	0	0	12	12	
合計	406	414	411	406	401	396	396	396	398	396	401	398	4,819	4,912	
うち委託	45	45	45	46	45	45	44	41	41	42	40	39	518	672	
町総合事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30合計	
きとくと教室	0	0	0	0	0	0	16	16	14	14	0	0	60	82	
訪問C	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	6	9	
配食	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3	
計	0	2	1	1	1	0	16	16	15	14	1	1	68	94	
													ケアマネジメント総数	4,887	5,006

### 3. 総合相談

- ・予防ケアマネジメント以外で寄せられた相談の件数を示している。
- ・暫定サービスなど介護認定の結果が出る前に調整が必要な方の支援、要介護者の施設入所や保健・医療にかかわる相談など様々な項目がある。
- ・高齢者虐待については保険福祉課と連携を取りながら主に社会福祉士、看護師が対応している。
- ・継続的支援は居宅支援事業所のケアマネジャーへの引き継ぎ事例やケアマネジャーからの相談を扱ったものである。

(件) 参考

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	H30合計
新規サービス相談	21	16	18	24	18	21	17	21	29	26	21	19	251	227
暫定サービス	3	9	0	15	14	14	2	7	1	4	3	17	89	98
保健・医療関連	7	4	6	6	3	5	6	6	2	4	5	4	58	27
施設入所	11	5	15	3	6	9	2	2	4	4	2	0	63	45
町福祉サービス	0	0	1	2	2	7	0	2	0	0	2	1	17	36
社協福祉サービス	7	1	0	0	2	0	2	0	1	0	0	1	14	4
高齢者虐待	4	5	0	1	3	0	1	4	0	0	0	0	18	35
成年後見・権利擁護	3	0	5	9	2	0	0	0	1	2	2	0	24	6
認知症	1	1	0	8	7	8	13	6	3	18	6	13	84	6
福祉用具	0	5	4	2	3	7	3	8	4	2	0	9	47	61
住宅改修	11	11	10	14	7	7	9	5	9	8	1	8	100	91
介護相談	8	15	17	8	6	10	5	1	13	6	3	14	106	162
継続的支援	15	8	9	9	21	21	18	18	20	17	7	14	177	142
介護保険制度関連	9	11	11	9	12	12	6	14	8	12	10	8	122	92
その他	11	11	5	5	12	14	2	6	13	4	6	3	92	140
合計	111	102	101	115	118	135	86	100	108	107	68	111	1,262	1,172

### 4. 実態把握調査

- ・入善町は65歳以上の一般高齢者(6,900名程)を対象に数年に1度、健康状態等のアンケート(基本チェックリスト)を実施している。
- ・基本チェックリストとは、高齢者が自分の生活や健康状態を振り返り、心身の機能で衰えているところがないかどうかをチェックするためのものである。
- ・生活・運動・栄養・口腔・閉じこもり・認知・うつなど25項目の質問に加え、入善町では家族構成や疾病の有無などの項目を付け加えており、生活機能の低下のおそれがある高齢者を早期に把握することに努めている。
- ・実態把握調査はこれらの結果をもとにリスクの高い高齢者宅を訪問し生活状況や健康状態の詳細を聞き取り、町の運動教室等の参加を呼び掛けている。これらの情報は実際に要支援・要介護状態となった時の相談時にもスムーズな介入を行えるという利点がある。

(件) 参考

入善	上原	青木	横山	飯野	小摺戸	新屋	梶山	舟見	野中	合計	H30合計
31	16	15	12	21	6	4	11	9	9	134	137

## 5. 地域ケア会議

地域包括ケアシステムの推進を図るため、地域課題の抽出、ネットワーク構築、介護支援専門員への後方支援等を行った。また地域で働く多職種の参加による専門的な意見を集約した会議等を実施した。今年度は民生委員の改選年度であったため新規着任委員を中心に入善町における高齢者の実情や制度について説明し、当センターとの連携を依頼した。

月	項 目		月	項 目	
4月	今年度の計画について	34名	1月	精神障害者の個別事例	11名
6月	多職種による事例検討	12名	1月	民生委員との意見交換会	25名
6月	精神障害者の個別事例	10名	2月	虐待の個別事例	5名
8月	困難事例についての事例検討会	23名	2月	虐待の個別事例	4名
9月	看取り支援についての勉強会	27名	2月	民生委員との意見交換会	27名
10月	多職種による事例検討会	11名	3月	困難事例についての事例検討会	6名

## 6. その他

・住民向けの講師活動等 介護保険制度や認知症の講座依頼など随時対応している。

月	題目	依頼者
5月	地域包括家システムについて	飯野地区社協
6月	市民公開講座	新川在宅医療支援センター
6月	認知症サポーター養成講座	入善小学校
7月	認知症出前講座	シルバー人材センター
8月	サンウェルデフェスタ介護相談	入善町
10月	認知症出前講座	西中地区福寿会
2月	地域包括家システムについて	小摺戸地区社協
2月	地域包括家システムについて	入善地区社協
随時	運営推進会議への出席	町内の地域密着型施設

<法人職員としての地域貢献活動>

- ・認知症初期集中支援事業
- ・認知症予防教室(来いちゃ倶楽部)
- ・介護職員初任者研修講師
- ・入善町生活・介護サポーター養成研修に伴う検討委員の派遣
- ・富山県技術専門学院新川センターの講師派遣

